

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	水道課(水道事業担当)				
事務事業名	農業用水施設整備事業	事業番号			
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	環境への負担軽減に配慮した「国営環境保全型かんがい排水事業」に取り組み安全・安心な農畜産物を供給するクリーン農業に貢献するため、「安全で安心な水」を安定的に供給する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 普及率(農業用水・簡易水道)	92.3%	92.3%	92.3%	92.5%	93.5%		93.7%	95.0%
2 有収率(農業用水・簡易水道)	92.9%	92.9%	90.1%	89.3%	83.4%		94.0%	95.0%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算	
		44,498			44,498		44,498	
内訳	国道支出金							
	地方債	40,000			40,000		40,000	
	その他							
	一般財源	4,498			4,498		4,498	
人員(人工)		1.00			1.00		1.00	
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		7,679			7,679		7,679	
総事業費(=事業費+職員人件費)		52,177			52,177		52,177	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		564			564			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		584			584			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	管種や布設位置などは経済的になるように行っている。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も市民生活や農業生産活動において欠くことのできないものであることから、何時でも安心して飲める安全な水道水の供給を継続する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	安定給水を行っているため結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 施設の維持管理等を全面的に委託検討するための検討を行う。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 新にコスト削減できる材料や方法があれば直ちに見直すが、今のところは見直す必要はないと考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない コスト削減に関して日々努力している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 地理的条件などから厳しい。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 今後安定給水を継続していくために、見直す可能性がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名	根室西部地区道営草地整備事業	事業番号	12713
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 10aあたりの牧草収量	(H29) 3,221kg	-	-	-	3,642kg		3,800kg	3,900kg
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		8,250		6,710		53,750		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	8,250		6,710		53,750		
	一般財源							
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		614		614		614		
総事業費(=事業費+職員人件費)		8,864		7,324		54,364		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		2		2				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望量は多い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 本事業は、北海道が事業主体である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は、適期に草地整備事業を実施することで、栄養価の高い牧草収量を確保できることから、事業の見直しは検討していない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業実施による経済効果は、事業に要する経費を上回るため、事業計画は妥当である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 農業農村整備事業を活用し、適切に事業を推進する。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 本事業の補助率は、国50%、道25%、受益農家25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名	農業経営基盤強化資金利子補給事業	事業番号	10422
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調査した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	農業経営基盤強化促進法の農業経営改善計画等の認定を受けた農業者が借入する農業経営基盤強化資金の実質金利を引き下げるため利子補給を行い、経営改善計画に即して効率的、安定的な経営体を目指す。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	農業経営改善計画に示された経営改善を行うことにより、意欲ある農業者の規模拡大等を金銭面から支援し、継続的な営農活動が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 貸付件数(農業経営基盤強化資金)	35戸	35戸	33戸	29戸	29戸		30戸	25戸
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算
				2,719		2,382		2,237
内訳	国道支出金			1,359		1,190		1,118
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,360		1,192		1,119
人員(人工)				0.08		0.08		0.08
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)				614		614		614
総事業費(=事業費+職員人件費)				3,333		2,996		2,851
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				115		103		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	農業経営基盤強化資金利子補給事業の趣旨に基づき、適切に実施する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	農業経営基盤強化資金を活用し、農業用機械・施設の整備などに必要な資金を借入することにより、経営改善計画に即して効率的、安定的な経営体を目指すことができる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 ㈸日本政策金融公庫は、認定農業者に対する資金の貸付を決定し、貸付決定を受けた認定農業者は、市交付要領に基づき、市の利子補給を申請する制度設計となっている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金に対する、市の利子補給金制度である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 「農業経営基盤強化資金に係る利子補給事務について」に基づき、適正に運用している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 農業経営基盤強化資金に対する利子補給事務については、法令に定めるところにより実施している。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金に対する、市の利子補給金制度であることから、受益者の負担はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名	多面的機能支払交付金交付事業	事業番号	12517
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調査した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室地区環境保全会
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	農業・農村の多面的機能を発揮するため、根室市に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全を図ることを目的とする。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	農業・農村の多面的機能が発揮され、地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 農村環境の保全活動に取り組む農業者数	117名	117名	117名	118名	118名		117名	117名
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算	
		19,475			19,432		17,146	
内訳	国道支出金	14,631			14,598		12,883	
	地方債							
	その他							
	一般財源	4,844			4,834		4,263	
人員(人工)		0.25			0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		1,920			1,920		1,920	
総事業費(=事業費+職員人件費)		21,395			21,352		19,066	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		181			181			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することが必要である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	地域の共同活動により、遊休農地の発生や、農用地での鳥獣被害が抑制され、地域景観が保全・向上していることから、本事業の効果は有効に発揮されている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 本事業は、農業者等で組織されている「根室地区環境保全会」が事業主体となり活動しており、国の実施要領により、地方公共団体は、国の交付金と併せて一本化して交付金を交付すると規定されている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 「根室地区環境保全会」が実施する活動は、多面的機能を確保する観点から必要な事業である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は、「多面的機能支払交付金実施要綱」等、国の制度に基づき取り組んでいる。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は、「多面的機能支払交付金実施要綱」等、国の制度に基づき取り組んでいる。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 交付金の負担割合は、国50%、道25%、市25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月